

- ▶ 地域医療連携室長就任のご挨拶/地域医療連携室長 三浦 英明
- ▶ 医療連携登録施設のご紹介/竹下医院 竹下 寿子
- ▶ 婦人科外来診療のご案内/産婦人科部長 橋本 耕一
- ▶ 小児科外来のご紹介/小児科診療部長 熊田 篤
- ▶ 産科病棟ご紹介/5階西病棟看護師長 伊藤 華名子
- ▶ インスリン治療中の血糖モニタリングはCGMが標準になりつつあります/
糖尿病内分泌科部長 山下 滋雄
- ▶ 小児科受診案内

TOPIX

地域医療連携室長就任のご挨拶

地域医療連携室長 三浦 英明



日頃より当院の医療連携において、種々のご支援をいただきありがとうございます。

この度、2022年6月1日付けで前任の笠井部長のあとを引き継ぐかたちで、総合医療相談室内の地域医療連携室長を拝命いたしました。

肝臓内科の三浦です。また同時に当院の医療連携推進委員会の委員長を務めさせていただくこととなりました。どうぞよろしくお願い致します。

私が前身の社会保険中央総合病院に入職したのが1997年のことで、はや25年の歳月が経過しました。この間、日々の外来診療における紹介患者さんを通して、また支部・合同二火会や連携講演会などで、あるいは医師会学術委員会のメンバーとしてご存じの先生方も多いかと思いますが、あらためて地域連携室長としてひと言ご挨拶をさせていただきます。

これまで医療連携推進委員会の委員として、連携講演会の企画などには参画したことはあるのですが、連携室の業務に携わった経験は全くありませんでした。就任当初は右も左もわからず、前任の笠井部長や橋本副院長、また連携室のスタッフから一つ一つ教えていただきながらの、全く一からのスタートとなりました。連携室長として活動を開始して約3ヵ月が経過し、この原稿を執筆しているところですが、あらためてその業務の重要性と責任の重大さを実感しているところです。

連携室の重要な業務の一つはいかにして、病診連携の患者さんを各科の診療へと横断的かつスムーズに結びつけていくかということです。本年度から当院は救急車の応需率を高めるという病院の方針が掲

げられました。救急外来は救急車への対応に専念するために、これまでは救急外来で対応していた救急車以外での受診患者さんをどのように振り分けるか、あらたな診療体制をととのえる必要が生じ、現在院内の体制を再構築しているところです。

また、連携室長として在宅医療への関わりも重要な業務の一つであり、新宿区医師会の「在宅ケア・介護保険委員会」、「新宿区コロナ対策医療介護福祉ネットワーク会議」、「新宿区地域保健医療体制整備協議会・在宅療養専門部会」などさまざまな会合へ徐々に参加しはじめているところです。

当院の連携室は2014年4月に立ち上げられ、8年が経過しております。当時より連携登録医制度を導入し、その登録数は年々増加し、現在430施設にまでなっています。連携登録施設からの診療依頼は救急車で来院は救急外来で、それ以外の患者さんは連携室で当該科に依頼するというかたちで、すべてお受けするという原則の下に対応するように心掛けています。しかしながら7月中旬から新型コロナウイルス感染が爆発的に拡大し、その感染力の強さから当院でもこれまでとは異なったかたちでの院内感染や職員感染が拡がり、又以前からコロナ病棟として運営していた8西病棟に加えて、7月下旬からは6西病棟もコロナ病棟へと増床したため、そのあおりを受けて一般病床と個室が逼迫しました。連携室・入退院支援室でタッグを組んで日々取り組んできましたが、どうしてもお受けできない事例が数多く発生してしまいました。特別な状況下であったとはいえ、スムーズな連携が取れなかったことに申し訳なく思っているところです。いち早い感染拡大の収束を願うばかりです。

今後も地域で必要とされる各診療科の対応の充実を図りながら、より密接な連携による協力関係を築き、地域医療に貢献していくつもりですので、引き続き当院の医療連携をよろしくお願い致します。

医療連携登録施設のご紹介



竹下医院
竹下 寿子

産科婦人科・内科・小児科の竹下医院院長の竹下寿子と申します。当院は東京都新宿区高田馬場にあり貴院と非常に近く、いつも病診連携などで大変お世話になっております。昭和32年の私の父、鷲尾了諦が院長として鷲尾医院、その後

竹下医院に名前を変えて約60年間地域医療に努めて参りました。父は新潟の長岡出身で新潟大学卒業の産婦人科医師でありました。台湾へ出張し、昭和7年9月27日基隆（キールン）で私は生まれました。台湾では外地ならではの異文化に触れ、のびのびと育ちました。昭和20年の終戦時に新潟へ引き上げてきました。戦後復興中の新潟を支える人たちの健康を守ることに向かい努力する父の姿をみて、私も医師を目指そうと思いました。新潟高等学校では引き上げの関係で起きた勉強の遅れを取り戻そうと必死で努力しました。また体育祭でも砲丸投げなど難しい課題にも果敢に取り組みました。何としてでも資格を持って、父のように社会に貢献したい一心でした。その結果、昭和26年に東邦大学付属医学部へ入学し産婦人科医になりました。診療科で唯一生命の誕生の尊さに直接触れることができるのが何よりもうれしかったです。私も親として家族たちに医師として患者さんに向き合う姿を見せてきました。結果今では家族で竹下医院での診療を行っております。

仕事以外でも趣味としてコーラスを高校生の時から続けており、仲間と余暇を過ごしています。コロナ禍以前では普段のコーラスの練習だけではなく、発表会も活発に行っておりました。発表会では友人の家族含め多くの方々が見に来られるため、とても緊張しますが逆にやりがいとなり、終わった後の達成感は格別です。また、友人との相談や練習の後のおしゃべりや食事も楽しく、練習を続けるモチベーションとなっています。

こういった家族や従業員、趣味などで公私ともに充実しながら90歳となった今でも意欲的に診療に取り組んでおります。

当院の産婦人科では妊婦検診の他に平成までは当院で出産も行っておりました。時勢柄、現在では感染症や児童相談所の保護されている子供たちの診療も行っております。次男の竹下直樹は東邦大学医療センター佐倉病院で遺伝学のセンター長であり、当院でもNIPT（新型出生前診断）を行えるようになりました。また竹下康代と智史も診療を担い、内科においても円滑な病診連携になるよう診療に努めています。医師になって60年余りになりますが産科婦人科や内科、小児科診療などの新しい知識、患者さんとの出会いはとても刺激的で日々の診療が今でも楽しいです。患者さんの悩みが少しでも解決されるととてもうれしく感じます。診療する意欲になっています。

コロナ禍から診療所での診察や医師会での連携の仕方が週ごと、日ごとに目まぐるしく変わるため対応できるよう準備するのにも苦心しています。かかりつけでも発熱してしまうと診察が思うようにできないため何度も申し訳ない気持ちになりました。当院でもコロナワクチン接種を数はわずかですが行い、少しでも流行・重症化防止に貢献していきたいと考えております。

コロナウイルス感染症の治療の最前線に立ち向かっている皆様には感謝の思いでいっぱいです。コロナ感染症も一般診療で対応できる時期になれば当院でも検査や治療をしたいと考えております。

皆様は十分ご理解されていると思いますが、医療は看護師さんや事務の方、清掃・食事の方など様々な方のご協力と、患者様・地域の皆様の信頼の上で診療ができております。そのことに感謝して少しでも皆様にご恩をお返ししようと日々試行錯誤しております。電

子カルテや検査器具など私が医師になった頃に比べすべてのものが変化し続けています。変化に対応するのも大変で困難もありますが、皆様のご協力もあるので乗り越えられると思います。一步一步ずつですが皆様に望まれる医療が提供できるよう、竹下医院一丸として日々精進しております。微力ながら地域医療に貢献できるよう努力しますので今後ともよろしくお願ひします。



竹下医院

〒169-0075 東京都新宿区高田馬場2-14-22 TEL 03-3200-1281



東京山手メディカルセンターに2018年4月より産婦人科部長に就任いたしました橋本耕一と申します。

今回当科の婦人科の検査や処置に関し、ご紹介させていただきます。

コルポスコピー外来

2012年6月に策定された「がん対策推進基本計画」では、「5年以内に受診率50%（胃、肺、大腸は当面40%）」が掲げられ、受診率の算定には40～69歳（子宮頸がんは20～69歳）までを対象とすることになりました。子宮頸がん検診の全国平均は40%で、米国の85%と比較するとかなり少ないのが現状です。

当科では、子宮がん検診で再検査が必要になった方をコルポスコピー外来で検査しています。コルポスコピーは、対象物を40倍まで拡大して観察することができる拡大鏡で、肉眼では見えないがんの手前の状態や、初期のがんを見つけ出します。コルポスコピーで膣壁や子宮腔部の様子を観察し、酢酸水溶液を子宮腔部に塗って観察します。酢酸水溶液を塗ると、細胞内の成分が反応して上皮の表面が一時的に変化します。異形成やがんがある部分は表面が白濁し、その色合いや血管の変化、白濁が消えるまでの時間などをみることで、病変の部位・広がり・程度を推定することができます。コルポスコピー検査で異常がある場所がわかったら、最も強くがんが疑われる部分を器具を使って1カ所から数カ所採取します。これを「ねらい組織診」といいます。通常は、わずかな痛みを感じる程度で検査は終了します。採取した組織は病理医がくわしく検査して組織の異常を病理診断します。ねらい組織診で高度異形成もしくは上皮内がんという状態であれば、子宮の入り口を円錐形に切除する手術が必要になります。

子宮鏡外来

子宮鏡検査とは、膣から子宮内に直径3mm程度の細いファイバースコープを挿入し、子宮内部を直接観察する検査です。子宮内を直接ファイバースコープで観察し、子宮内膜ポリープ、粘膜下筋腫、子宮体がんなどの病気の診断や治療方針

の判断に役立ちます。超音波検査や骨盤MRIなどの画像診断で病変の有無を確認できる場合もありますが、直接病変の観察ができる子宮鏡には及びません。子宮鏡検査では膣内を消毒した後に、ファイバースコープの先端から出る生理食塩水を子宮内に流して充満させながら内部を観察します。子宮内の様子医師がモニターを見ながらカメラを動かすことで、子宮内腔を観察できます。検査は特に麻酔などの処置は必要なく、検査にともなって微量の出血が起こることがありますが、体への負担は少なく、検査後の安静や食事制限の必要ありません。ただし、妊娠している方や淋菌やクラミジアなどの性感染症が現在ある方などにはできません。子宮内膜ポリープや小さな粘膜にある筋腫があれば、当科で入院し全身麻酔下での子宮鏡手術で切除が可能です。

コンジローマ焼灼外来

尖圭コンジローマは、性感染症です。性行為によって外陰部、膣内、子宮頸部などにヒトパピローマウイルス HPV 6型や11型が感染することによって引き起こされます。20歳代の若年層の男女に多い性感染の1つです。

発症すると、外陰部を中心に鶏のトサカのようなイボが形成されます。中には悪性化するものもあるため、適切な治療と経過観察が必要です。

現在のところ原因となるヒトパピローマウイルスを体内から排除する治療法はなく、当科では1) 外陰の広範囲にあるもの2) 膣内や子宮頸部に病変が及ぶもの以外の軽微な病変は外来で局所麻酔をしたのちに下平の高周波電気メスでイボを焼き切る治療を行います。1)と2)に関しては、2泊3日入院していただき手術室で麻酔下の手術になります。これらの治療を行ったとしても体内のウイルスを完全に排除することはできず、再発を繰り返しやすいのが特徴です。3か月後病変を認めなければ治療終了となります。

ご不安がないように、丁寧な説明を外来で行いますのでぜひお気軽に御相談下さい。



新宿区で診療されております諸先生方におかれましては、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。

2021年4月1日付けで独立行政法人地域医療機能推進機構(JCHO)東京山手メディカルセンターに小児科部長として着任致しました。

2021年3月まで日本医科大学小児科の関連病院でしたが、同年4月より東京医科大学小児科医局の関連病院として、大学病院との新宿区の小児医療の連携を取ることとなりました。

当院では小児科の入院患者の診療は行っており、外来診療がメインとなっております。午前中は一般外来、新型コロナウイルス感染症の検査のための発熱外来、午後は乳児健診、予防接種が中心です。小児科スタッフは、常勤医師が3名で、他に東京医科大学、日本医科大学から非常勤または夜間の新生児オンコールとしてバックアップ体制が整っております。

2022年4月から更に小児神経外来および遺伝外来を新設致しましたので、ご紹介申し上げます。

2022年4月から更に小児神経外来および遺伝外来を新設致しましたので、ご紹介申し上げます。

小児神経外来

東京医科大学病院の小児神経外来は数か月先まで予約を頂いている外来です。4月から小児神経チームの高松朋子が常勤として赴任しました。東京医大と連携して、小児神経外来を開設しております。小児神経はけいれん、運動・知能・感覚・行動または言葉の障害など脳、神経、筋に何らかの異常がある小児の診断、治療、指導を行います。ひきつけた、頭を痛がる、頭の形がおかしい、首のすわりや歩くのが遅い、よく転ぶ、歩き方がお

かしい、手足の力が入らない、食べ物にむせる、ことばが遅い、しゃべらなくなった、手や首を変な風に動かす、落ち着きがない、お友達とのトラブルが多い、集団でみんなと同じ行動ができない、日中の居眠りが多いなどがある場合に脳・神経・筋肉の病気(障害)が疑われます(小児神経学会HPより抜粋)。

受診されましたら、成人歴の問診から必要に応じて、血液や尿検査からの一般検査を含む代謝スクリーニング検査、脳波検査やMRI検査、発達検査などを行っております。

また後述の遺伝外来との連携しておりますので幅広く対応させていただきます。まずは気になる患者様がいましたらいつでもご相談頂ければ幸いです。

遺伝外来

遺伝外来は2022年3月に東京医科大学遺伝診療センター教授の沼部博直先生が退官され、非常勤として今年度4月から月2回第2週、4週の木曜午前に開設致しました。小児に限らず、4月から改訂された出生前コンサルタント相談や家族性の疾患が疑われる患者様や遺伝性疾患が疑われる成人の患者様からのご依頼もすでに頂いております。遺伝外来とは遺伝子検査のみならず患者様の成人歴に沿ったカウンセリングや指導も行っております。通常の染色体検査に加え、2021年から保険適応となったマイクロアレイ染色体検査を行うことで更に多くの患者様の病態解明に繋がると思われます。現在はそのような遺伝学的検査の施設基準認定を取得するべく準備中です。2022年11月からは更に幅広く検査を実施できる予定ですので今後ともどうぞご周知頂けましたら幸いです。遺伝子検査の適応かどうか等の相談からでも構いませんのでお気軽にご相談ください。



小児科外来担当表

2022.10月～

		月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前	1診	熊田 篤	東京医科大学小児科医師	早川 潤	高松 朋子(神経)	山西 慎吾(アレルギー)
	2診	高松 朋子(神経)	上田 美希	熊田 篤	24週沼部 博直(遺伝)	熊田 篤
	3診	上田 美希	熊田 篤	高松 朋子(神経)	上田 美希	高松 朋子(神経)
午後	乳児健診	熊田 篤	熊田 篤	熊田 篤	高松 朋子	熊田 篤
	予防接種	高松 朋子	上田 美希	高松 朋子	上田 美希	高松 朋子
		上田 美希	東京医科大学小児科医師	早川 潤	東京医科大学小児科医師	上田 美希

産科病棟のご案内



皆さんこんにちは。
今回は、私たちの働く
5階西病棟の紹介をさ
せていただきます。

5階西病棟は、産婦
人科・内科・肛門科が
中心の混合病棟でした
が、コロナ病棟造設に
よる病棟再編により、
診療科を問わずありとあらゆる疾患の女性患者が
入院されています。平均在院日数が7.0日前後
と短期入院の患者が多く、一期一会の精神で日々
の看護を行っています。また、産婦人科ですので、
助産師と看護師という2つの職種が日々協働して
業務を行っています。受け入れは、女性患者だけ
であり、助産師はもちろん看護師も女性のみ
のスタッフで構成されています。今回は産科特集とい
うことなので、産科について詳しく紹介させてい
ただきます。

まず、5階西病棟には、陣痛室が2室（和室
1室、洋室1室に2ベッド）、分娩室が2室、新
生児室などがあります。褥婦部屋は数年前にリ
ニューアルし、4人部屋となっていて、通常より
大きなクローゼット、保冷庫などが備え付けら
れています。助産師は、全部で13人いて、そのうち
CLOCMiP レベルⅢ受講済みの助産師が7名、そ
のスタッフを中心に経験年数の浅い助産師や看護
師への指導を行うことで、病棟全体の産科分野の
知識技術の向上に努めています。

年間200～250件の分娩があり、そのうち約
70%が経膈分娩、約30%が帝王切開となっ
ています。ご本人と相談しながら、アロマオイルを
たいたり、好きな音楽を聴くなど、リラックスし
て分娩を迎えられるように支援をしています。当
院には、炎症性腸疾患センターや大腸肛門病セン
ターがあり、クローン病や肛門疾患合併の妊婦も
いらっしゃいます。どんな妊婦も、安心して安全
に妊娠から出産、育児が行えるように、産婦人科、
内科、肛門科などの医師に加え、WOCや薬剤師、
栄養士、MSWとも連携をとりながら多角的に支
援ができる体制をとっています。

基本的に、経膈分娩は分娩後6日目で退院、帝
王切開の場合は、9日目で退院となっていますが、
育児技術の不安や体重の増加が緩慢なベビーなど

は、本人と相談して入院の延長や、退院後の母乳
外来で経過を見ていくこともあります。最近、小
児科外来でベビーの2週間検診が開始となり、助
産師の母乳外来と合わせて受診することで退院後
の自宅での不安・ストレスの解消につながるこ
とが期待されます。なお、母乳外来は当院で分娩
した以外のかたでも受診が可能ですので、気軽
に相談していただきたいと思います（1回3000円）
。平日の午後の時間の予約となっていますが、状
況によって変更がありますので、詳細は産婦人科
外来にお問い合わせをお願いします。

当院では、外来と病棟で連携して継続した看護
が提供できることを目的として、病棟所属の助
産師が産科外来で妊婦検診や入院の説明、母乳外来





4人部屋



病棟からの夜景

を行っています。その中で、ハイリスク妊婦や経済的社会的な問題を抱えている妊婦に関しては、外来と病棟の助産師、看護師がカンファレンスで情報共有を行うとともに、担当助産師を決め可能な限り入院前から継続して関わられるようにしています。

コロナ前は、母親学級や両親学級、立ち合い出産、業者による調乳指導、昼食ビュッフェを行っていましたが、コロナの流行と共に院内の規定に沿って、これらがすべて中止となっています。今後の感染の状況にもよりますが、感染対策を講じながらの母親学級や両親学級などの再開を目指していきたいと考えています。また、立ち合い出産

が制限されている中でできることとして、分娩室内でのTV電話での会話やベビー写真のプレゼントなども検討中です。

少子化に伴い分娩件数が減少していたり、コロナ禍であり様々な制限がある中ですが、外来から入院、出産、出産後のフォローまでを継続して同じスタッフで関わるができること、確実な知識と技術をもった助産師がケアを提供できることが大きな強みといえます。これからも一人一人の妊婦・褥婦さんに丁寧に関わり、安全はもちろんみなさんが満足できるお産を病棟全体で考えて取り組んでいきたいと思っていますので、どうぞよろしくをお願いします。



インスリン治療中の血糖モニタリングは CGM が標準になりつつあります



2017年2月1日に isCGM (intermittently scanned CGM ; 間歇スキャン式持続血糖測定器による CGM (continuous glucose

monitoring)) と分類される FreeStyle リブレ® の一般販売が開始されると、比較的高額であるにもかかわらず、自費購入で使用する人が出始めました。同年9月1日に保険適用となってからは、特に1型糖尿病患者の間で一気に広まった感があります。装着が簡単であること、ボタンを押して

リーダーをセンサーに近づけるだけという手軽な操作感(図1)、センサーが14日間使用可能であり、リーダーの充電が14日間ならほとんど不要であるほどの耐久性、自分自身の血糖変動をグラフにより可視化できること、などが普及した理由であると考えられます。

保険適用の範囲は、当初小児と妊婦に対して禁忌とされていましたが、すぐに禁忌項目から外されました。リブレセンサーは SMBG (self-monitoring of blood glucose) の回数に応じたオマケのような扱いであったのが、C150 血糖自己測定器加算の中に「間歇スキャン式持続血糖測

1 装着

小型(500円玉サイズ)のセンサーを上腕の後ろ側に装着します。



2 データの読み取り

センサーをスキャンすることで簡単に測定できます。衣服の上からでもスキャンできます。



3 確認

現在のグルコース値と8時間の履歴、血糖変動の傾向を示す矢印が表示されます。



リブレセンサー
五百円硬貨

直径 35 mm 厚さ 5 mm
直径 26.5 mm 厚さ 1.81 mm)

図1 isCGM の装着、読み取り、確認方法

表1 血糖自己測定器加算

C150 血糖自己測定器加算		
1	月 20 回以上測定する場合	350 点
2	月 30 回以上測定する場合	465 点
3	月 40 回以上測定する場合	580 点
4	月 60 回以上測定する場合	830 点
5	月 90 回以上測定する場合	1,170 点
6	月 120 回以上測定する場合	1,490 点
7	間歇スキャン式持続血糖測定器によるもの	1,250 点

定器によるもの」の項目が新設されました(表1)。さらに2022年4月からは、1日1回しか注射しない場合を含めて、すべてのインスリン治療中の患者に対して間歇スキャン式単独での使用が認められるようになっていきます。つまりCGMは、

当初はあくまでSMBGの補完的役割であるという解釈でしたが、現在では主たる血糖モニター用のツールとして位置づけられ、SMBGの方がむしろそれを補完する役割であるという使い方が可能となっています。

表2 妊娠中の血糖コントロール目標

	目標値
空腹時血糖値	95mg/dL 未満
食後血糖値	食後1時間値 140mg/dL 未満 または 食後2時間値 120mg/dL 未満
HbA1c (%)	6.0 ~ 6.5% 未満 (妊娠週数や低血糖のリスクなどを考慮し、個別に設定する。)

(日本糖尿病学会 編著：糖尿病治療ガイド 2022-2023. 南江堂, p.105, 2022)

特に妊婦の血糖コントロールについては、各食前および食後1時間と2時間の目標値が推奨されているため（表2）、各食事につき3回ずつの測定に眠前の測定を加えて、さらに低血糖を生じやすい時間帯の測定も加えると1日少なくとも7回、多ければ10回以上の血糖測定が必要となります。患者にとっては、1日10回も針で指先を刺して血液を絞り出さなくてはならず、それがストレスの原因となります。医療機関としても、SMBGの場合は最高点数でも月に120回以上の1490点までしか算定できる点数がなく、1日10回測定が必要となりますと、月に300回分の測定用チップを渡すことになり、大幅な赤字となりかねません。

SMBGは、その瞬間の血糖値を $\pm 10\%$ の誤差範囲で示してくれます。それに対してCGMでは、測定しなかった時間帯の様子もあとで振り返ることができるため、思いも寄らぬ低血糖・高血糖の発見に役立ちます（図2）。また、インスリン注射を行っていないくても、妊娠糖尿病と診断されて「C101-3」在宅妊娠糖尿病患者指導管理料を算定している場合には、保険適用となっており算定可能です。ただし、SMBG同様 $\pm 10\%$ 前後の誤差があること、血糖変動の最中には実際の血液中のブドウ糖濃度変化よりも15分ほど遅れて数値が表示されているため、タイミングによっては正常に作動していてもSMBGの結果と大きく乖離することがあるという点に注意が必要です（図

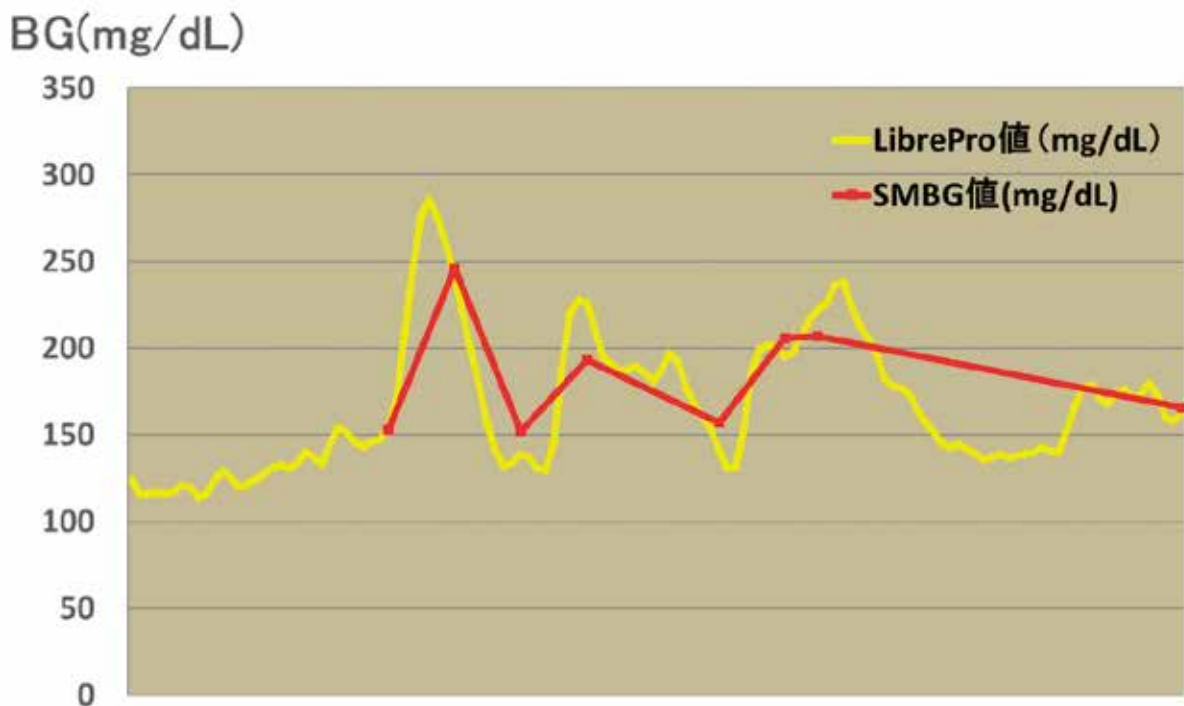


図2 SMBGとisCGM同時測定の結果（東京山手メディカルセンター自験例）

3)。結果の解釈やそれを元にした指導にはある程度のトレーニングが必要ですので、「糖尿病の治療に関し、専門の知識及び5年以上の経験を有する常勤の医師又は当該専門の医師の指導の下で糖尿病の治療を実施する医師が、間歇スキャン式

持続血糖測定器を使用して血糖管理を行った場合に算定する。」とされています。当院では、300例以上の導入実績があります。安全な妊娠出産のためにも、患者のQOL向上のためにも、是非ともお薦めしたいデバイスです。

血糖値と間質液中グルコース値の違い

FreeStyleリブレで測定するグルコース濃度（値）とは

- ・ グルコースは毛細血管と間質液の間を自由に移動しています。血糖値と間質液中のグルコース値は相関性が高いことが証明されています¹⁾。
- ・ FreeStyleリブレは間質液中のグルコース濃度を測定しているため、血糖値とは5～10分程度のタイムラグが発生する可能性があります²⁾。

1. Rebrin K, Steil GM. Diabetes Technol Ther. 2000; 2(3): 461-472.

2. Rebrin K, et al. J Diabetes Sci Technol. 2010; 4(5): 1087-1098.

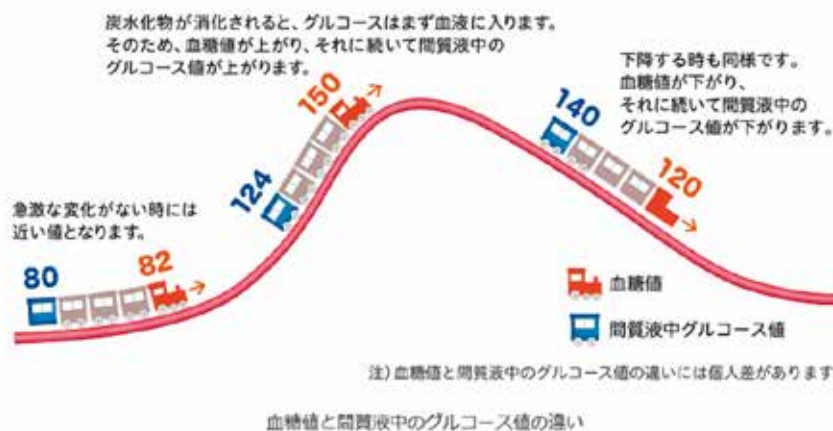


図3 アボットジャパン HP より引用

<https://www.myfreestyle.jp/hcp/products/freestyle-libre/overview.html>

東京山手メディカルセンター小児科では2022年4月より以下の患者様のご紹介をお待ちしています。

発達外来(火曜以外連日)

成長や発達の遅れで気になる方がいましたらいつでもご紹介ください。

予約なしで火曜以外であれば受付可能です。代謝スクリーニング検査を含めた一般スクリーニング検査やその後のフォローをさせていただきます！

東京医大の神経外来と連携しています。

遺伝外来(第2・4木曜AM)

2022年4月から東京医大前遺伝子診療センター教授の沼部博直が遺伝外来を開設しました。気軽にご相談ください。

出生カウンセリングから、発達歴や顔貌異常から疑われる遺伝性疾患の相談から検査のご紹介まで致します。

詳細は<https://cigen.org/>

※事前に電話予約をお願い致します。

その他、思春期の起立性調節障害などの体調不良や頭痛も随時お受けしています！



東京山手 メディカルセンター

〒169-0073 新宿区百人町3-22-1

総合医療相談センター ☎ 03-3364-0366
FAX 03-3365-5951

<https://yamate.jcho.go.jp/>



この冊子は環境にやさしい有害廃液の出ないクリーン印刷で作成しています